

1 ■まちづくりの契機

飯田橋駅東口周辺では、JR飯田橋駅のホーム移設工事や放射第25号線の開通により、まちを取り巻く状況が変化しています。また、大きな病院や公共施設などが立地しているにも関わらず、駅や駅とまちを行き来する動線のバリアフリー対応が遅れていることや五差路の歩道橋の老朽化、鉄道間の煩雑な乗換え動線などが課題となっています。

■飯田橋駅東口



■放射第25号線



■五差路の歩道橋



2 ■まちづくり構想とは

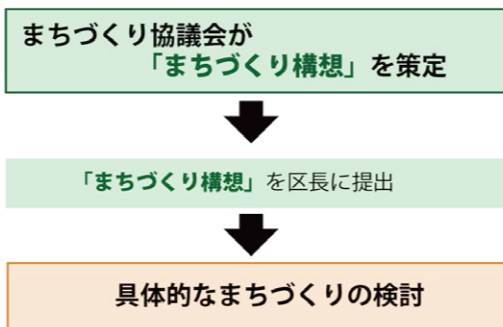
このような状況の中、平成29(2017)年4月に検討区域内 (P2参照) に土地・建物を所有する方、お住まいの方、営業している方等で構成する「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会」(以下、「まちづくり協議会」) を設立し、まちの現況や課題を整理するとともに、まちづくりの目標や方向性について検討してきました。

「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり構想」(以下、「まちづくり構想」) は、これまで協議会において検討してきたまちの目標や方向性をまとめたものです。今後、地元、新宿区、東京都、鉄道事業者等が調整を図りながら、まちづくり構想の実現に向けた取り組みを進めていくことを期待し、区へ提出するものです。

■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会の様子



■まちづくり構想策定後の流れ



3 ■まちづくり構想の検討区域

まちづくり構想を検討した「飯田橋駅東口周辺地区」の区域は、津久戸町、筑土八幡町、新小川町、下宮比町、揚場町の全域及び神楽河岸の一部からなる26.7haの範囲で、千代田区、文京区に隣接した地区です。

